

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度	科目名	コンサートプロダクト 3
科目基礎情報					
開設学科	コンサート・イベント科	コース名	コンサート照明コース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	270時間
単位数	9単位			授業形態	実習
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	島立 麦人		実務経験の有無・職種	有・ホテル照明	
学習目的					
ライティングデザインの基礎を3DシミュレーションソフトやGrandMA2 on PC照明卓を用いて、使用方法から応用知識まで集中的に学習することで、正しい明かり作りの基本を身につけることを目的とする。照明機材の仕込みからバラシの作業工程を繰り返し練習を行うことで問題点や課題を考えた上で、効率の良い作業手順を理解できるようになり、短時間で正確に作業を進める能力を身につける。実習を進めていく中で常に目的意識を高く持ち、実習内容を明確に提示することで、自分が取り組んでいる作業にはどのような意味があるのか、何のために行っているのかを学生たち自身が理解し、行動できる人材になることを目的とする。					
到達目標					
学内外のライブ実習を行うことで実践により近い環境で経験を経て知識・技術の基盤をしっかりと身につけた照明スタッフを目指す。実習を通してライブハウスからホール、アリーナといった多様な舞台機構の知識を学習し理解する。技術面ではインターネット回線を用いた信号伝達方式やLEDムービングライトのプログラミングなど現場で扱われている最先端の技術を身につけることで、どのような場においても臨機応変に対応することができ、迅速に行動をとれる人材になることを目標とする。就職をしてさまざまな業種、企業に勤めた際に、与えられた仕事に対して取り組む姿勢や周りへの気遣い、礼儀やあいさつといった基本的な社会人としての一般常識を実習の内容と関連づけて授業の中で習得する。					
教育方法等					
授業概要	アリーナ設備を活用した仕込みとバラシを繰り返し行う。ライブ形式の実習を繰り返すことで、より実践に近い授業内容を展開し、その場の問題や課題に対して臨機応変に対応できる能力を伸ばす。				
	PCを用いたシミュレーション実習を取り入れることで照明操作卓のネットワーク通信やデータプログラミングの知識を身につける。実習内の取り組みの中で締切期日や時間制限を設けることで物事の優先順位を考え、判断することで行動力や思考力を高める。				
注意点	キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。実習の仕上げとしてグレード試験・小テストを行うことで、復習をし理解度を確認する。多くの用語を吸収する時なので、メモを取ることを意識づけする。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することが出来ない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	20%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	1年次の復習 (仕込み・シュート・ピンスポット)		仕込みからシュートまでの手順を時間内に終えることができる。ピンスポットの扱い方を確認する		
2回	1年次の復習（プログラミング・バラシ）		照明操作卓の操作手順を確認しプログラミングができる。LED機材のバラシ方を習得する		
3回	3Dシミュレーションソフト講座		3Dシミュレーションソフトの操作方法を習得する		
4回	照明操作卓講座①		3Dシミュレーションソフトと照明操作卓を用いてデータのプランニングを行えるようになる		
5回	学内ライブ実習①、照明卓講座		学内ライブ実習に向けての仕込図やフェーダー表等の資料作成を学び完成させる		
6回	学内ライブ実習②		明かり作りを通してLEDライトのライティングデザインを学び、理解する		
7回	学内ライブ実習③		学内ライブでのテクリハ、リハーサル、明かり直し、最終調整を行い本番に備える		
8回	学内ライブ実習④		学内ライブでの本番、バラシ作業を通して各セクションのスキルアップを目指す		
9回	照明操作卓講座②		ライブ実習の反省点を踏まえて、照明操作卓の応用技術を習得する		
10回	学外ライブ実習①		学外ライブ実習に向けての仕込図の作成、ホール資料の見方を理解し資料作成を完成させる		
11回	学外ライブ実習②		明かり作りを通してムービングライトのライティングデザインを学び、理解する		
12回	学外ライブ実習③		学外ライブ実習 テクリハ、リハーサル、明かり直し、最終調整を行い本番に備える		
13回	学外ライブ実習④		学外ライブ実習 本番、バラシ作業 学外ホールでの作業工程を理解し、実施する		
14回	学外ライブ実習⑤		学外ライブ実習の映像を基に反省と検証を行い、次回の取り組み方を考察する		
15回	前期総括ミーティング、後期実習準備		前期の総まとめをコース全体で行い、個々の取り組みを反省し次回の目標を立てる		